

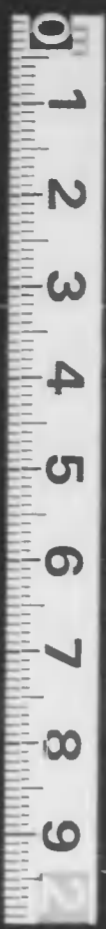
編輯部報國內

# 寫真週報

昭和十三年三月十一日 第三號 發行所 東京 日本郵政 第三號



3  
13・3・2  
10号



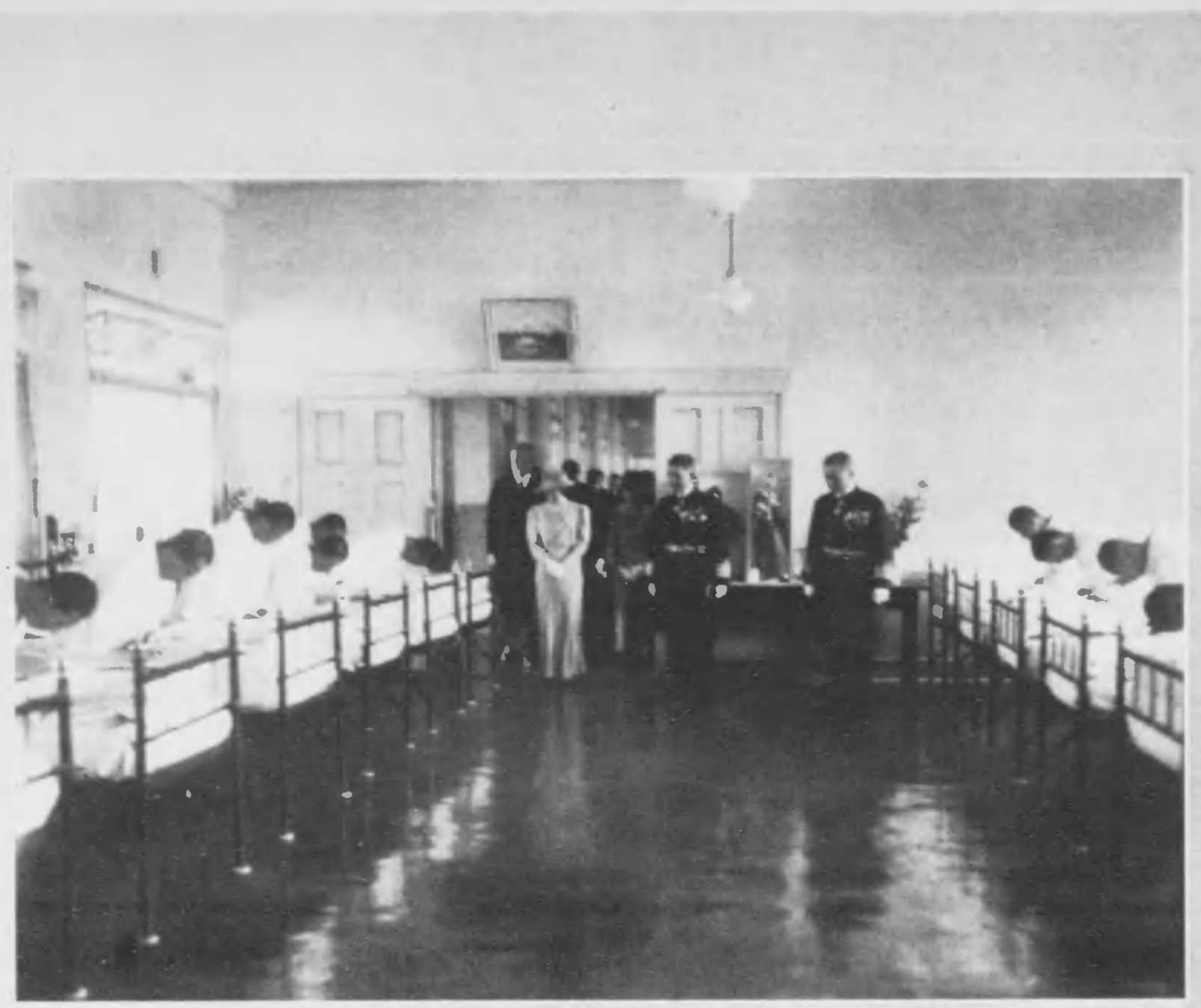
# 切手一枚輝く航空



日本の航空は  
 外国に比べて大變劣つて居ます。  
 愛國切手や愛國葉書を  
 使つて下さればその寄附金にて  
 飛行場も澤山出來飛行機の數も  
 増え日本の航空はもと盛になります。



皇國  
 帝國  
 飛行



皇后陛下には三月六日御出たく御三十五圖の  
 御慶賀を御承り下さる。  
 このたびの地久節には長くも時局を思召され、  
 特に拜賀賜顧の儀を御取り止め遊ばされるが、  
 御仁慈深き御母陛下には事變以來日夜將兵の上  
 を思召され、御子づから編帯を御製作、又義親  
 義親を思召され、殊に昨年十一月には陸海軍病院  
 に行陣、親しく傷病兵を御慰問遊ばされた。又  
 當には皇百萬人進軍家族に對し、次いで忠勇な  
 る國の英雄に對して有難き御歌を下賜せられ  
 たるはまことに御授けも御賜り極みである。  
 (御賞賀は横須賀海軍病院行陣の皇后陛下)

皇后宮御歌

なごき光じよあ  
 糸しれきよ

よそよそめい  
 まさ子



# 見よ！試練の回本・銃後の力

南に北に國土を擧げて

ころ、寒暑を越え、風上を起して湧きあがり、たゞひと筋「日本」につながる同胞の精神、祖國への愛は國民精神總動員の怒濤となつて無礙にひろがる。南に北に、東に西に



備く姿をそのまゝに銃後の獲りは此處でも固い。白い襟に心は一つ、打ち振る日の丸の旗に足どりも軽く、國民精神總動員の波は力強く流れる。(神太)

雪よかき北方の地にも國の非常時は告げられた。神前に頼りきり合掌するアイヌの古老たちの額の皺にも國を憂ふる至誠がふかく刻まれている。(神太)

東亞の風雲をおもはせるやうな雪雲の下、僻地の地にこそあれ國土の誇り、神に誓つて難に當らんとする。高らかに歌ふ君が代、肚の底から叫ぶ萬歳にしみじみ味はふ日本人の幸福と力強さ。(神太)

戦線に不自由はさせまいとの銃後の誇り、軍用雑品用として、戦地の勞力用として全島から多くの水牛や黄牛が献納された。(重雄)

「ワタシタチハ日本臣民デアリマス」おお、さうだ、たしかにさうだ。神前に誓詞を奉告する半島の幼き同胞たちよ、可憐なその姿よ、一視同仁の慈恵にすく〜と背つ若木よ。(重雄)

非常時は半島の同胞たちに「日本人」の意識を力強く呼び覺ました、その幸福を自覺させた。老ひも若きも男子も婦人も「日本人」として起ち上つた。進んで國難に當らんとする愛國の精神は火の如く燃えあがつた。これはその一つ、國防婦人會の發會式(朝野)

**滿洲國建國六周年!!**

東洋平和の爲に、我等の父祖兄弟の流した犠牲の血潮が、一塊の土にも滲みこんである天地に、理想の大旗、王道樂土、五族協和の五色旗が掲げられ、滿洲國が誕生してから既に七年、現存皇帝が新國家の元首として即位せられてから、早くも六年目の春を迎へた。今年、滿洲國は、わが國が過去三十餘年に奮闘した經濟的、文化的基礎の上に、驚異的飛躍を遂げ、内には王道樂土にも沿ひ、行政機構の理想化、文化教育の普遍は勿論、原始的生産様式より近代的生产組織への移行に依る、資源開發、農業産業の高度化、厚生經濟の觀光、財政金融の確立等、第二段階に於ける、その經濟建設計畫は、素晴らしい成功裡に終了しようとして居り、外にはドイツ、イタリー等我が盟邦強國の承認と相俟つて、新興國家としての威容、益々輝きなきものとなつた。日本が、近世史上嘗て見ざる大業を爲しつゝある今日、日滿不可分の意氣がより可塑性を加へつつあるは、言ふを俟たない。恰も、滿洲國建國記念日に際し、一體一心の盟邦が歩んで来た、成長の跡を顧みて見やう。



〇 瀋陽執政（御當時）には、昭和九年三月一日、春風瑞氣と香る新京に於て、三千万民衆の歡呼に迎へられ、明大正の大旨に基き、帝位に就かせられた。長くも天皇陛下には、同年六月、秩父御名代宮殿下を御遊遊遊遊された。兩國の青史を飾る信譽捧呈の盛儀は、我々の記憶に未だ新なる所である。

〇 滿洲國皇帝陛下には、建國の由業に萬福の接點を寄せた。わが帝國の皇室、國民に感奮又御自ら日滿親善の礎を築かせ給ふ恩恵から昭和十年四月六日、わが國を御訪問、兩國斷金の文意を、皇宮、朝野との御交際具現遊ばされ、同日、秩父宮殿下初め各宮殿下と東京皇宮に御名乗りを惜しまれ、御同國の途に上らせられた。



〇 新生滿洲國に、ぐつと伸ばされ今日出づる國の手！ 久遠の平和を呼ぶ聖明は訪れ、東亞五族に與へられた悠久の樂土は輝く。昭和七年九月、滿洲國都新京に於て、感激に戦きながら、日滿議定書に調印する、今は亡き、時の帝國特命全權大使武蔵大將と、滿洲國國務總理鄭孝胥氏。



〇 廣袤千里の曠原に、雄大なる規模と、澎湃たる威力をもつて、建設される大陸の心臓、滿洲國都新京！ 一本の木にも満ちる野生が感ぜられる野面に新文化住宅街が建設された。然し今日の風景は既に明日の風景ではない。新京は、絶え間なく建設される。新京は、涯なく伸びてゐる！

〇 昭和十年九月九日、滿洲國皇帝陛下には、金色輝たる皇帝旗を飄へし、御召艦遊に御座乗、松花江上に於て、大典觀艦式を饗はせられた。光榮に浴した艦艇十二は今や風雲を告げる蘇滿國境水路に在つて、堂々新興滿洲國の威容を誇つてゐる。



京新都國の成完期一第



# 甦った赤化村

千葉縣 豊住村

人の和と熱に甦った 銃後の農村

◻ 豪農例産したつかしの村を棄てた跡は住む人とならない



◻ 豊住小学校の跡地は倒壊する迄放棄された



闘争は 荒廃を 生んだ

◻ 小学校の遺れ塵は如何に重心を傷付たことか

## ▼豊住村を見て▲

東京新報社社長 吉益 俊次氏  
村全体が實に更生の意気に燃え上つて居る。村人の面上に、動作に、凡てを感動させる力が溢れて居り、更生の計画が真面目でまことに感服した。話では聞いて居たが行って見て判然と知つたのである。  
この村は丸山運送が中心となり、これに轉向者共の他村の有志が加つて更生が出来たのであるが、丸山運送の真面目な努力が、私に居る者は感服に堪えない。疲弊したこの村が一官吏の公正無私な、誠私奉公の熱意で雄々しく立ち上つて居る。これを見ても全国の官吏がこの熱意と真誠さを以て事に當り、民衆と協力して仕事を爲したならば、如何なる大きな事業も爲し遂げられると云ふ事を、私は切實に感したのである。(一説)

元内務省警備局長 藤澤 俊樹氏  
豊住村の現状は丸山運送個人の努力としては最早完了したと見てもよい程良く進んで居る。然し丸山運送と云ふ、村内の色々な人物によつて、その人間の能力によつてあつた方向に違ひが有るが、是等の人物が無くならぬ、時勢の感化が失せたりした時に、平凡な村に歸るやうな事があつてはならぬ。その爲には環境に動かされぬやうにする事が肝要で、現在の精神を恒心として地に著け、いかなる事情に遭ふとも断じて後退しないといふやうな村にしなければならぬと思つた。

警備局長 菊池 盛登氏  
村の平和が漸く来たといふ時代が相當水かつたやうに聞いてゐたが、行つて見ると全村が新與と更生の意気に燃えて居る。これはは徹身的努力とこれを固む村當局、産業組合其他各方面の人々が協力したから僅の期間でこの喜ぶべき現象を實したものと云ふ。成果は今後に俟たねばならぬが既に精神的な進歩に力を注いで居るから此の氣持を永く續けてゆけば必ず期して待つべきものがあると思ふ。

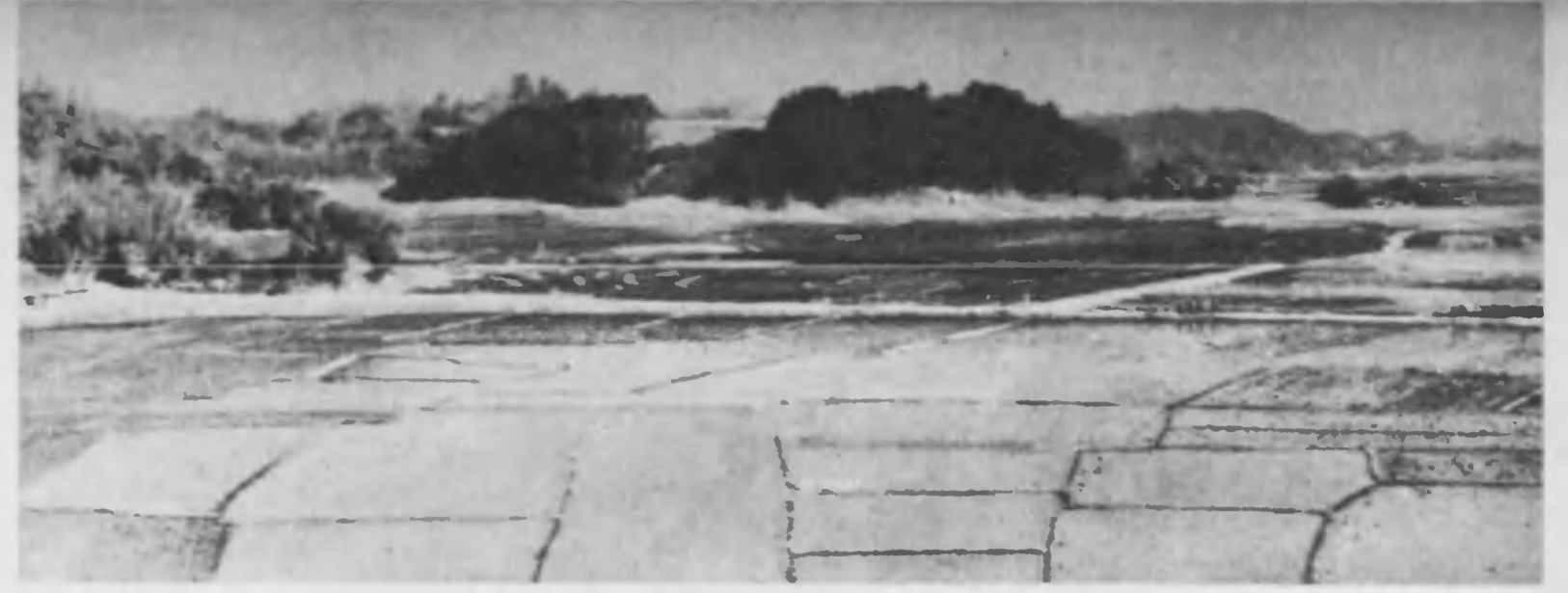
東京保護局長 平田 福氏  
日本全国に立派な更生村は少くないと思ふが、嘗て村全体が共産村と呼ばれる迄に赤化したものが、指導分子の轉向と共に村全体が又更生のスタートをきり、然かもその後の更生運動に又轉向者が中心的活動を續けて居る點に豊住村の更生の特殊な意義を私は認めて居る。又この村の更生の上で、嘗て警察其他取締りの立派にあつた當局の理解ある支援が興つて居る事も他村に於ける時、今更平が所謂轉向者に對して何等偏見をもたないのみか、寧ろ之等の人々を先頭に、老も幼も文字通り一律一致、只管一村復興の爲、和衷協同して居る實状を目のあたりに見て、之こそ仁愛の御業旨を基調とした思想促進政策の目指して居る、究極の姿である事を痛感し、真心から同慶の念に堪えなかつた次第である。



◻ 赤化の手は醫療機關を通じても延ばされた

千葉縣印旛郡豊住村。それは善男善女の集ふ總武線成田の町を後に北へ約三里利根川畔に點する純農村。戸數六百、人口三千餘。長沼、南羽鳥、北羽鳥、興津、佐野、龍峯、安西の七區より成り、北は利根の大川に接し、東は三百餘町歩の長沼を抱き、西と南は安食町、八生村に接するこの村は、今や縣下の模範村であり、人の和と豊かな稔とに恵まれた平和な村である。  
だが、茲に至る迄には、大正十四年より昭和八年に及ぶ小作争議の頻發と左翼思想の浸潤とによる荒廢の時期を克服して来た全村民の尊い血と涙の試練の記録が存する。  
明治七年、舊米長沼區(當時下總長沼村)の有であつた長沼が、沿岸村民の運動により沿岸十五ヶ村の入會地となり、在米長沼の魚獲を生活の資となした長沼村民は糊口に窮し全村自滅せんとする時に當り、村農小川武平出で、時の先覺福澤謙吉翁の指導を受け、前後三十年一身を棄て、努力し、遂に長沼漁業權の回復を得たといふ第二の宗事事件を経て、福澤翁の與へた「獨立自營」の標語を掲げて平和と希望に生きて来たこの村に、大正十四年未  
左翼農民運動の種子が播かれるに至つた。大正十二年の憲法以來小作争議は頻發し、十四年二月日本農民組合千葉縣聯合會豊住支部の結成を見、争議を繰る共産主義思想の宣傳は昭和四年四・一六事件による第一回檢査の風を卷るも熱執拗に續けられ、昭和六年夏には北部無産者講習所を開設、凡ゆる組織を通じて全村の赤化を謀り、南羽鳥、北羽鳥の如きは共産部活し、學童は赤旗を掲げて亂舞し、嘗ての人情敦厚、勤勉協和の美風は地を拂ひ、産業は振はず、倒産者は續出し、自治の運行は滯滞し、公和公課は滞納を重ね、小作人は反當り八俵收穫可能地に二俵しか耕作せず、日夜闘争と飲酒に耽つて小作料十割減を唱へ、小学校の破損硝子二百五十枚に及び災風教室に吹き入り學童の辨當は凍るといふ状態で、全村は思想と經濟の兩難に陥り、かくて昭和七年の二回に亘り再度指導人物の檢査を見るに至つた。やがて  
歸村した之等指導者を受け付けてゐたものは村民の温かき抱擁の手であつた。駐在巡査丸山朝司氏は部落民を護り出獄者には率先金調を贈出して更生資

金を與へ、入獄者の家庭には衣類、飯米、醫療費を募金惠與し、赤旗を以て物心兩面より救済の手を延べた。茲に於て舊指導者達は左翼思想を完全に清算し思想轉向者として奮起し、丸山巡査を中心に  
更新會を組織し、全村更生運動の策士たらん事を深く決意するに至つた。かくて更新會員は村の復興と建設へのパイオニアとして徹身的努力を續け、或は納稅組合を設立して義務の遂行に勉め、或は全村青年團を以て道路愛護會を組織し、毎週日曜午前五時より一時間半の労働奉仕により、忽ち村内主要道路を修理し、かくて勤勞精神は村内に昂揚し、昭和十年十二月、全村一致の豊住村勤勞會の結成を見るに至つた。同會は荒蕪地二十五町歩の果樹園化を計り、全村午前四時半起床を以て既に七町歩餘の開拓を了り、四千六百本の梅苗移植に成功し、また産糞、吠徒の副業の發展と長沼開墾事業の完成とに努めてゐる。今次日支事變起るや村民及び轉向者中より多くの出征者を出したが、更新會は率先發後活動に當り毎朝五時村社・頭にて祈禱祭を行ひ既に百五十日に及んでゐる。  
丸山巡査と更新會員との不撓不屈の努力は全村更生運動の拍車となり、村内の偏見の對立思想感情は解消し、進んで共同自治精神の作興となり、村民皆孜孜として農耕に従ひ、昨年来米産約四千俵、小麥約五百俵の増收を見、郵便貯金は左翼運動最盛時に比し一萬四千餘圓の預金増となり、更新會の寄附により小学校の破損硝子、破れ墨も新裝となり、學童の爲には辨當温器まで設備されるに至つた。  
人の和と熱とを以て二ヶ年にして模範更生村を成就せる豊住村の輝ける記録は、首に銃後農村の聲れであり、丸山巡査及び更新會轉向者、之等の人々を後援指導せる所轄署、縣當局、司法官東京保護局長所との渾然一體の努力の賜であり、  
廣大無邊の大御心を體した生ける我々に國民精神總動員の旗を掲げ出し、生ける我々に内外ならぬ。今や、完成せる梅林段畑の五千本の梅樹にはやがて結實の春も訪づれんとし、開墾せる長沼水田は五穀豐饒の秋を待つてゐる。  
甦ての疲弊せる赤化村は今や人の和と熱に燃り、銃後の農村として着々建設の大途を進んで行く!



□ 春訪づれた量住村！



□ 國安かれ 出征兵士の武運長久なれ

官民共同  
模範更生  
村の建設へ

□ 辻々の勸業會の立札に更生の意氣は續く



□ 嘗つて血を以て争つた地主も小作人も今や固く手を揃つて開拓へ！

□ 官民一致いさ進まん、銃後農村の平和を目ざして丸山逓査と轉向者山田大助君の握手

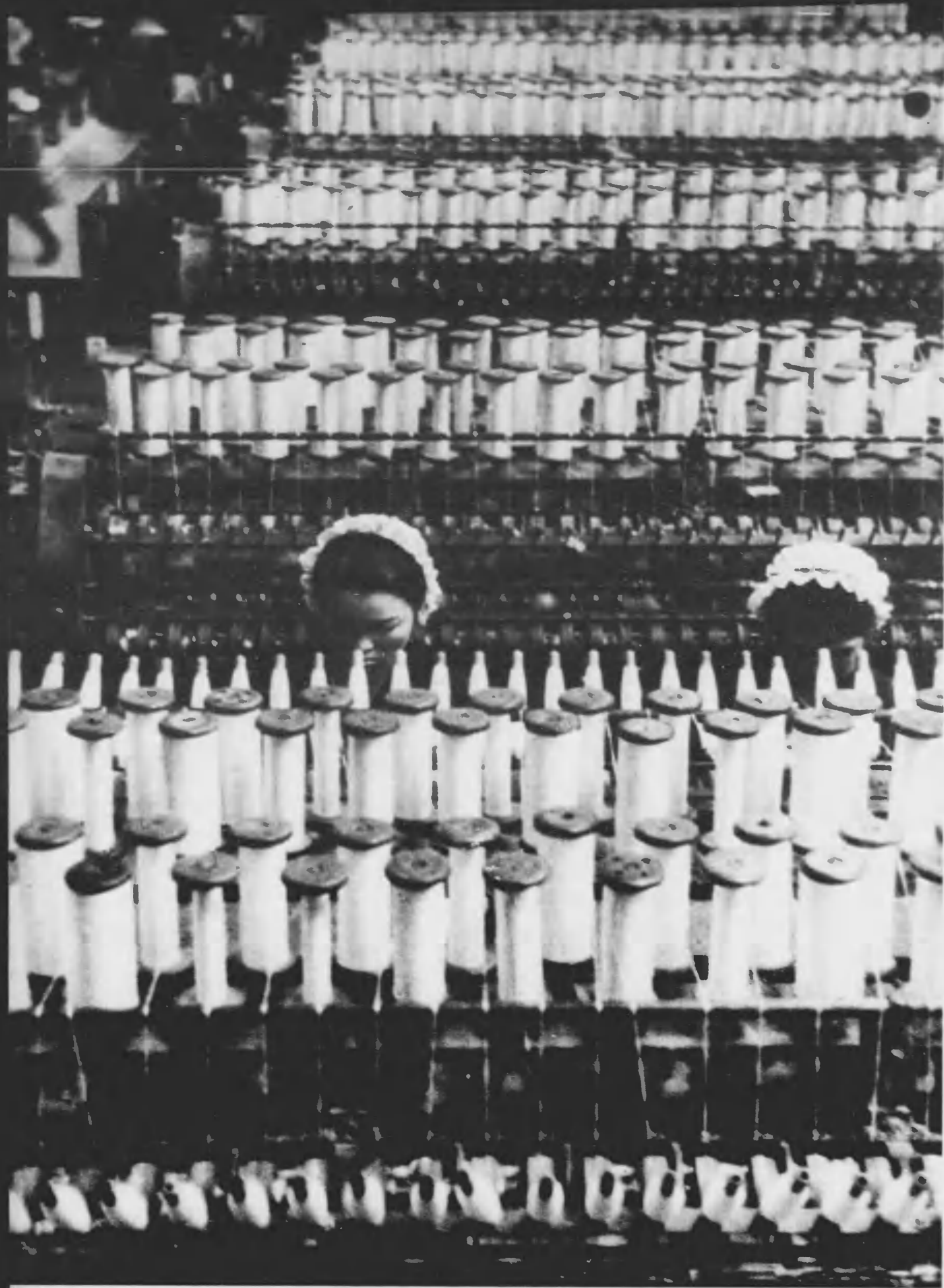


□ 校庭に安置された二宮尊徳



□ 銃後農村の勤め軍用隊の製造へ  
□ 今や小學生たちも軍々として勉強に精しむ





機 紡 精



理 兼 操 精 の 糸 製

原料国策

# 耐へよ ステール ファイバー

木材  
ステール

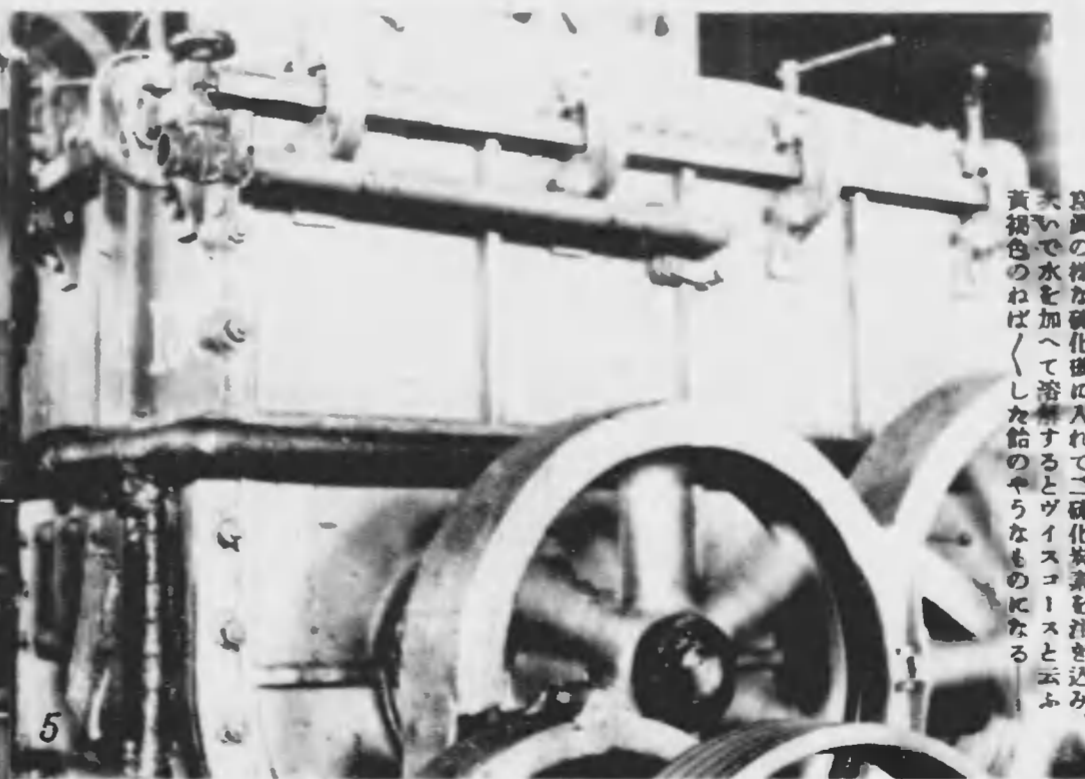


1 用材 からした素晴しく大きな樹が綿になり米になって我々の  
着物や洋服になるのだから驚く、種類はから松や樺皮である

4 バルブの砕砕 酒の粕状のバルブ  
は粉砕機に入れ細かに砕かれる

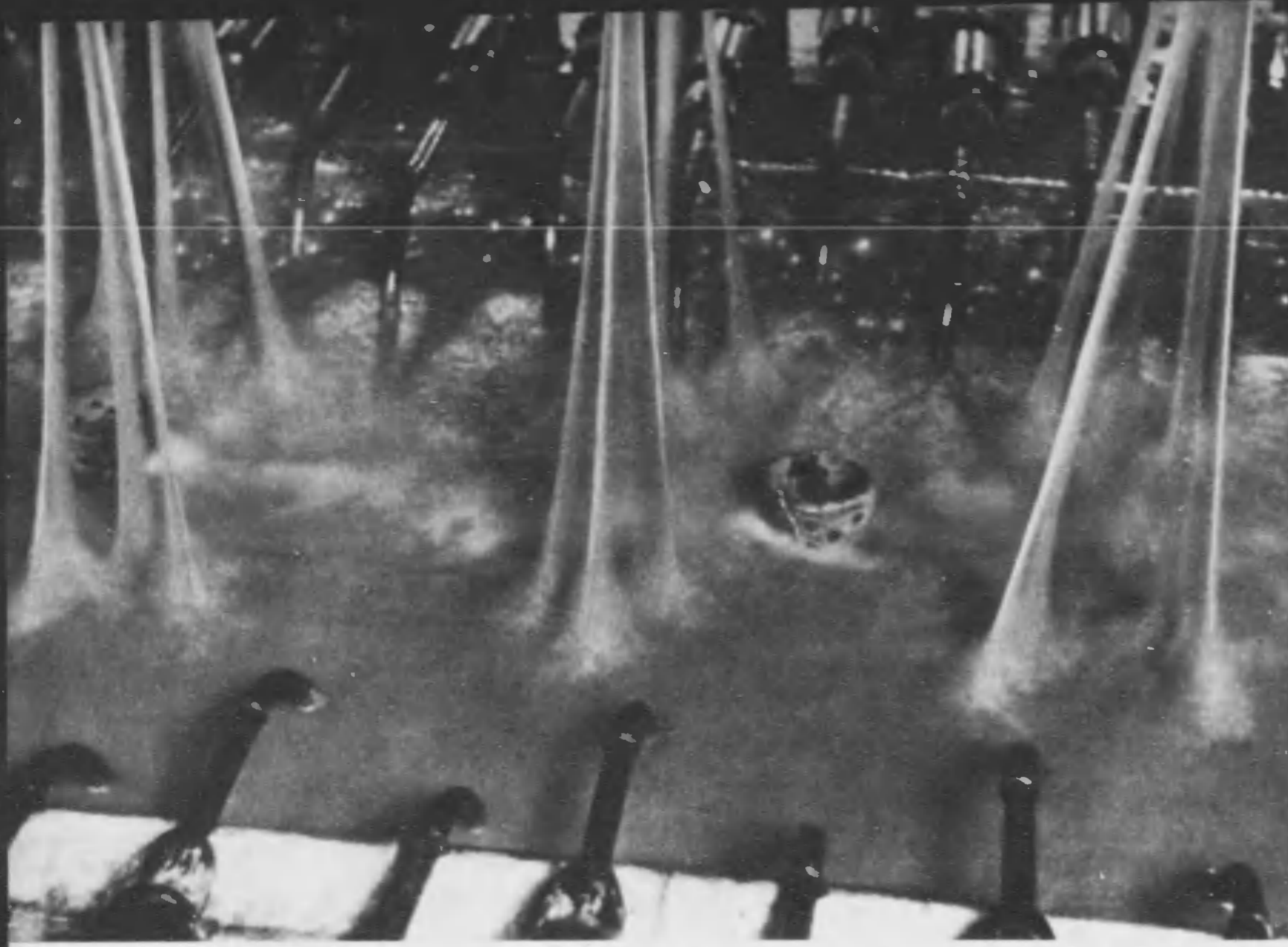


2 バルブ 原産地から送られた大きな木材はチ  
ツプといふマッチ位の細片に切り割られ、それが  
精製されてこいに積んだ様なバルブになる



5 ヴィスコスの製造 このアルカリバルブは  
高濃度の苛性ソーダ液に入れて、苛性ソーダを注ぎ込み  
水を加えて溶解するとヴィスコスと云ふ  
黄褐色のねばねばした粘り状のものになる

6 紡糸機 これを何度も濾して紡糸機に送ると、大きなスポイトの様な紡糸管の先にと  
白金で出来た口金があつて、殆んど目に見えない様な小さい穴が無数にあり、紡糸管を通つ  
たヴィスコスはこの穴から一分間九十メートルの速さで蒸気浴中に噴き上げられ、浴中の  
硫酸ソーダ、及び硫酸の作用で固まり初めて細い糸状になつて、簡単にまきとられる



7 仕上げ この糸状のものは精製装置によつて薄皮も洗は  
れ、漂白されて後切斷機で一定の長さで切斷され、乾燥され  
るとかうした雪の様なステール・ファイバーとなる



8 試験室 では化学分析や顕微鏡試験をして繊維の強力  
や伸縮や耐水性などを毎日検査する。奥内の写真はステール  
・ファイバーの切斷面を六百倍に擴大したもので



## ステール ファイバー

我が国では、毎年約七十五萬ト  
ン(八億圓)の棉花と、約十萬ト  
ン(二億圓)の羊毛とを外國に仰  
いでゐる。若し一朝有事に際して  
此等の輸入がびたりと杜絶したら  
どうなる。それでなくても、年々  
輸入超過で困つてゐる國際收支を  
改善するためには、輸入總額の四  
割近くを占める此等棉花及び羊毛  
の輸入を何とかして出来るだけ制  
限する工夫をしなければならぬ。  
殊に一昨昭和十一年六月の濠洲  
關稅の引上げに對する報復手段と  
しての濠洲羊毛輸入制限、更に今  
度の支那事變勃發と共にいよゝ  
原料自給策が一日も早く樹立され  
ねばならない時に當つて、かうし  
た原料國策の線に沿ふ代用品とし  
て一躍時代の寵兒となつたのがス  
テール・ファイバーである。

ステール・ファイバーは木材  
を原料とするバルブから出来る。  
従つて、有事の際、羊毛や棉花の  
輸入が全然杜絶したと假定しても  
羊毛棉花の自給が殆んど不可能で  
あるのに反し、國內及び滿洲國の  
木材資源を利用すれば、日本人の  
洋服も着物もその他衣類一切この  
ステール・ファイバーで代用す  
ることが出来るといふ國防上の強  
みがある。

更に國際收支の改善といふ見地  
から考へて見ても、例へば、昭和  
十一年度に於ける我が羊毛及び棉  
花の輸入額は總計十億五千萬圓を

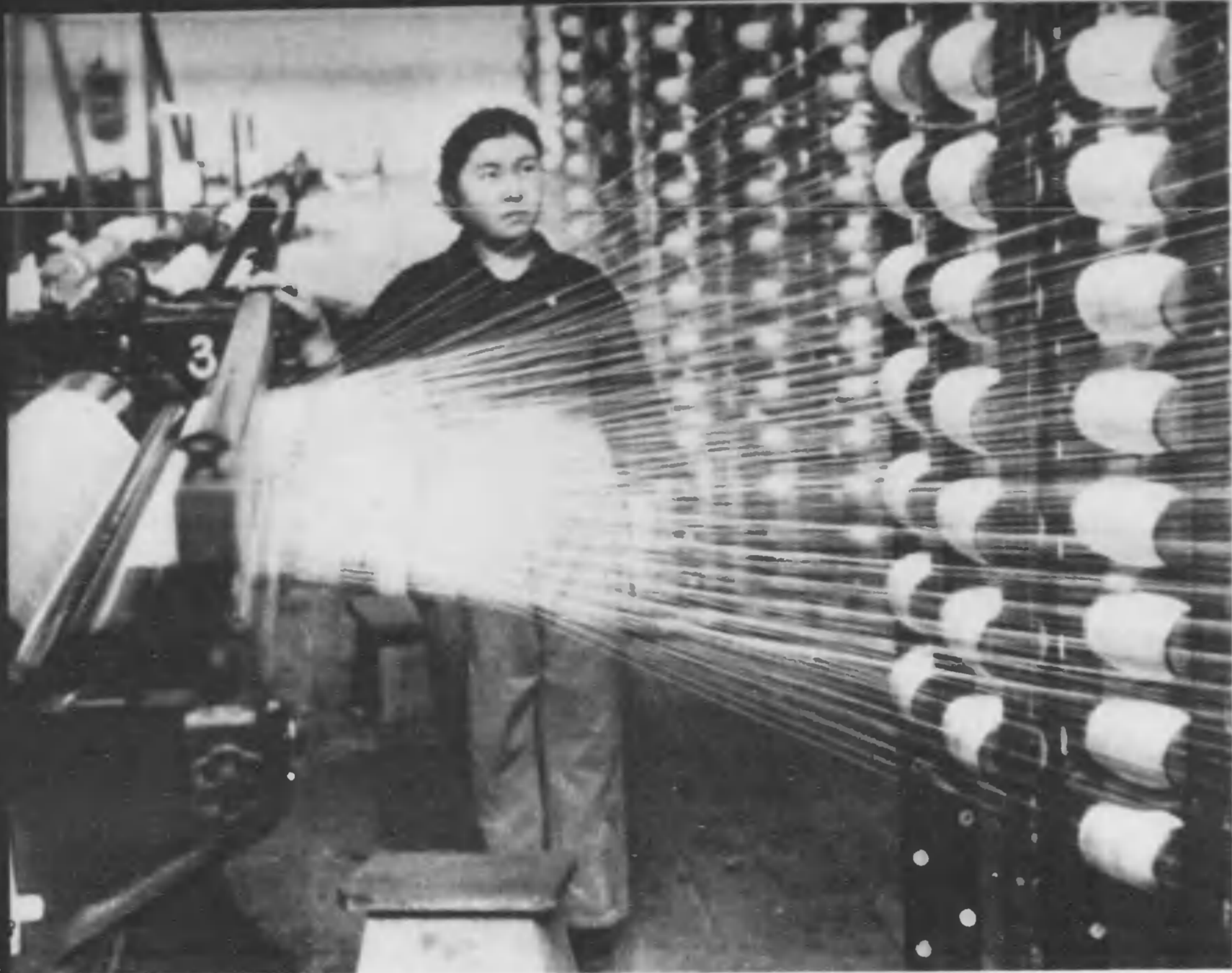
突破してゐるのだが、今この三割  
をステール・ファイバーで代用  
したとすると、約三億一千萬圓の  
輸入節減になる。

しかしステール・ファイバー  
の原料であるバルブは一部を輸入  
にまかななければならぬので、原  
料バルブの三分の一を輸入するも  
のとしてもその価格は約三千萬圓  
(昭和十一年のバルブ平均相場に  
よる)、差引約二億八千萬圓といふ  
莫大な海外支拂が完全に節約され  
ることになる。

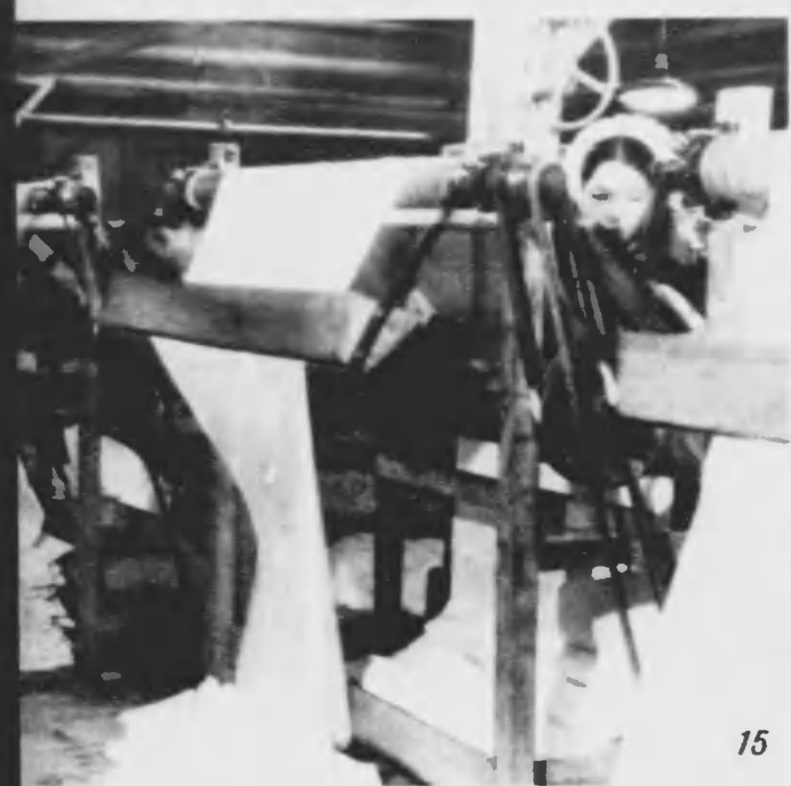
昨年十二月末、毛糸、毛織物、  
綿糸、綿織物に二割乃至三割以上  
のステール・ファイバーを混用  
すべきことを規定した商工省令が  
公布されたのも、事變下日本のか  
うした切實な原料自給國策に基い  
たものである。

ステール・ファイバーとはど  
んなものか。簡単に云ふと、天然  
生糸を模倣してバルブから製造さ  
れる人絹と同じ様に、天然の羊毛  
や棉花を模倣して同じくバルブか  
ら人工的に製造される一種の紡績  
用繊維である。たゞ、人絹が天然  
生糸の様に長い連続した糸の形で  
あるのに反し、これは人絹よりも  
更に細くて而も短く切斷された形  
の短繊維で、これを紡績して初め  
て長い糸になるといふ點が違ふ。  
従つて、この繊維の長さや細さを  
種々に加減しやすければ、(即  
ち、或は棉花の繊維の粗さや長さ  
に、或は羊毛の繊維の粗さや長さ  
に)同じ原料から綿布の代用品も  
出来れば、色々な種類の洋服地や  
毛布などの代用品も自由に出来る  
といふ優れた特徴がある。

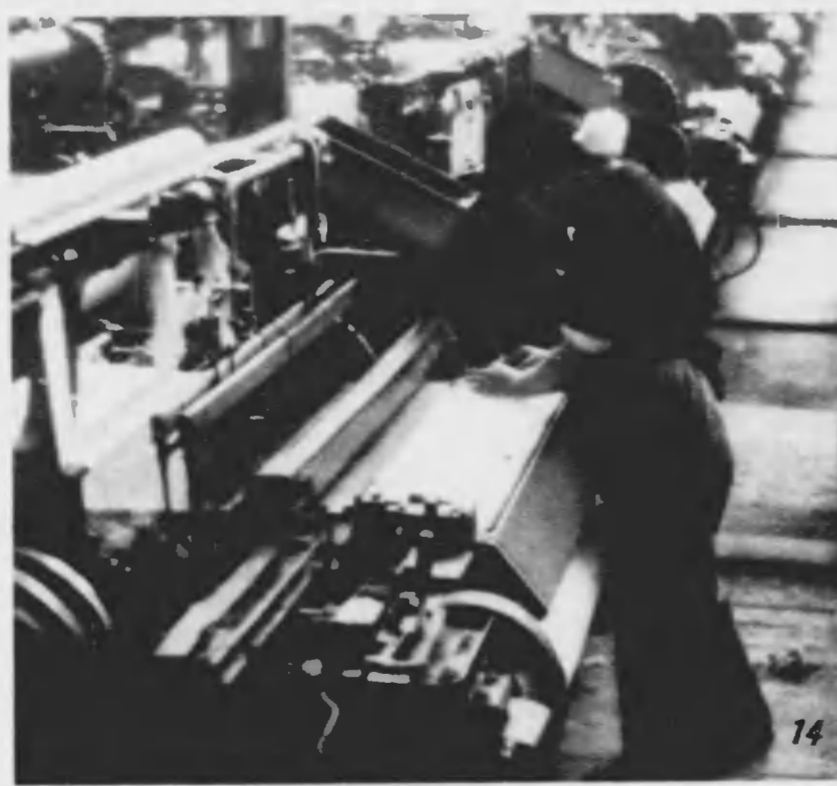




13 整理機 綿糸はこの機械で織物の粗糸として揃へて  
巻き取り、糊付機で適宜に糊をつけ、乾燥した後――



15 生地検査 綿糸の検査をうけて後、我等の  
洋服地や浴物地として市場に送り出される――



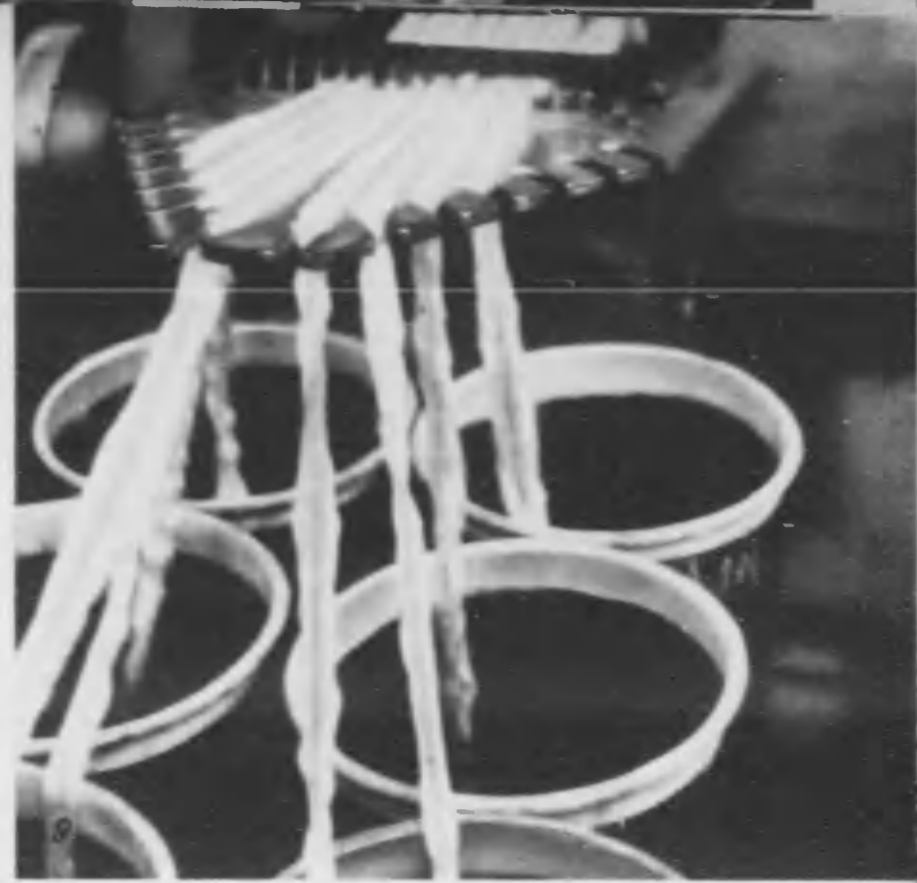
14 織機 に廻し、いよいよこゝで、織物に繰り――



11 精紡管糸 これを更に精紡機に移して一分間八百回  
位の捻りをかけて原糸とし、寫眞の様な管にまきとる



12 練糸 原糸は二本揃へ合は  
せ双糸とし、この双糸を瓦斯機  
でケバをとり、光澤を出し、  
総取り機にかけ、一定の長さの  
綿糸とする



10 粗紡機 こゝで尙も引伸  
ばし多少の捻りをかける

・ルーフテス  
がーバイアフ  
でまるなに物織



10

クリーム色を帯びた白色で相當強い光澤があるが、人絹のやうに肌光りせず、柔い感じがあり、織物にするにふつくりとした觸感と柔軟さを持つてゐる。乾いてゐる時には綿織物より強く、毛織物の二倍近い強さがあることは實驗的にも證明されてゐる。又保温といふ點から云つても、毛織物には劣るが、人絹織物などに比べると遙かに暖かいし、ステイプル・ファイバーは紫外線をよく透過させるから健康上非常に良く、又織物にしても毛織物のやうに虫が喰はない。就中、ステイプル・ファイバーの強みは生産価格の安いこと、毛織物に比べればその約三分の一乃至四分の一といふ低廉である。たゞ一番缺點だと非難されてゐるのは、ステイプル・ファイバーには弾力がない、殊に水に弱いといふことである。が、からした非難も頭からステイプル・ファイバーなんか駄目だとする一般の認識不足から特に誇張されてゐる傾きが多く、驚異的な発達を遂げた今日のステイプル・ファイバーは成程天然の棉花や羊毛には尙及ばない點もあるが、實際三割程度の混用なれば乾いてゐる時は勿論、水に對しても實用上は全然差支ない程度にまでなつてゐる。

更に強力を持たせるためにも、水に對して強くするためにも凡ゆる點に科學日本の眞摯な研究がつけられてゐるからステイプル・ファイバーでなくてはといふ日も近い將來のことと思はれる。

大戦中聯合國から經濟封鎖をうけ羊毛棉花の輸入が杜絶したといふ苦しい經驗を持つドイツでは、

近年原料國策の見地から羊毛棉花の輸入を制限し、その代用品としてステイプル・ファイバー工業を擁護奨励、新興の意氣に燃える國民亦愛國的精神から舉つてこれを愛用してゐる。イタリアもドイツも同様被服原料に恵まれず、殊にエチオピア戦争の結果國際聯盟の經濟封鎖に遭つて以來、國民一般の協力を相俟つてステイプル・ファイバー工業は長足の發展を遂げ、昭和十一年度に於てはイタリアはその生産高に於て世界の首位を占めてゐる。

日本ではステイプル・ファイバー工業が勃興したのは極く近年のことであるが、濠洲關稅問題以來の進歩發達は實に驚くべきもので、昨年の世界の産額はまだ發表されないものがあるから斷言は出来なないが、多分イタリアやドイツを凌駕して世界第一の産額に達したのではあるまいかと思はれる。又その品質では既に世界の如何なる國のものにも劣らぬ優秀なものが出来るやうになつてゐる。わが國は今や非常の時難に遭遇し、長期戦に對處するために國民精神總動員が朝野を舉げての一大運動として展開されてゐる。この秋に當つてその原料自給國策遂行のためにステイプル・ファイバーを羊毛棉花に代へて使用することは、國民精神總動員の本義から云つても國民各自の尊い義務であり、非常時經濟政策への協力と云ふ點から云つてもこの新時代の國產品に對して正しい認識を持ち進んでこれを各自の日常生活に取入れることはむしろ非常時國民としての誇りである。



武勳永へに輝く大串機

満身創痍、しかも片舷機體で渡洋生還した大串機は、いま千駄ヶ谷の海軍館後庭に、軍事普及参考品として武勳輝く巨體を静かに休めてゐる。去る八月十四日支那空軍の上海空域に襲起したのが、先鋒は南京、蘇州、杭州等各敵主要飛行場軍事施設の空域に敢然起つた、その折〇〇基地の夜霧を破つて初の激洋爆撃に飛び立つたなかの一機大串機三等航空兵曹（現二等曹）を機長とする〇〇機は杭州を襲つた。大串機はこの襲撃隊の中に発見されたものは一度一分も留はらず飛翔して来た進路下に横たはるぬすみ色の杭州の市街と空中で待ち受けてゐた敵十数機であつた。

襲撃後の名残晴れさらし暗惨たる空、地を拂ふ烈風は大串機はト下左右に動揺する、杭州を襲撃するそ援隊は各自の持場に必死と或は操縦桿を握り、或は機銃座に、又或は操縦桿を握つて、群がる敵機の攻撃、弾時雨を吹き寄せ受け流し大きな團體で身軽な敵機と太刀打ちを続けながら少しも進路をかわさず一直線に飛行場めかけて飛翔、見事正確に投擲して歸還途上、後継機一臺と通信機を射ち貫かれ遂に使用不可能になりながらも敵二機を撃墜、片側の破つた翼發動機で基地とも連絡をとれずに僚機よりも数時間おくれで夜に入つて〇〇基地に歸還した。著陸後機體を調べてみると大小七十の弾痕があり、同乗員出陣兵曹のポケット中には敵弾が入つてゐたといふ壯烈な話の翼である。

いま海軍館後庭の同機には一見明瞭に敵弾の方向、弾痕を赤い矢印で示してある。尾部の弾痕は直うしろから敵機の機銃でたてつづけに打ち抜かれ、胴も左の羽根もスベインの闘牛の背のやうに赤い矢印がいくつもいつきさいつて當時の猛烈な弾雨を想ひ浮べさせてゐる。



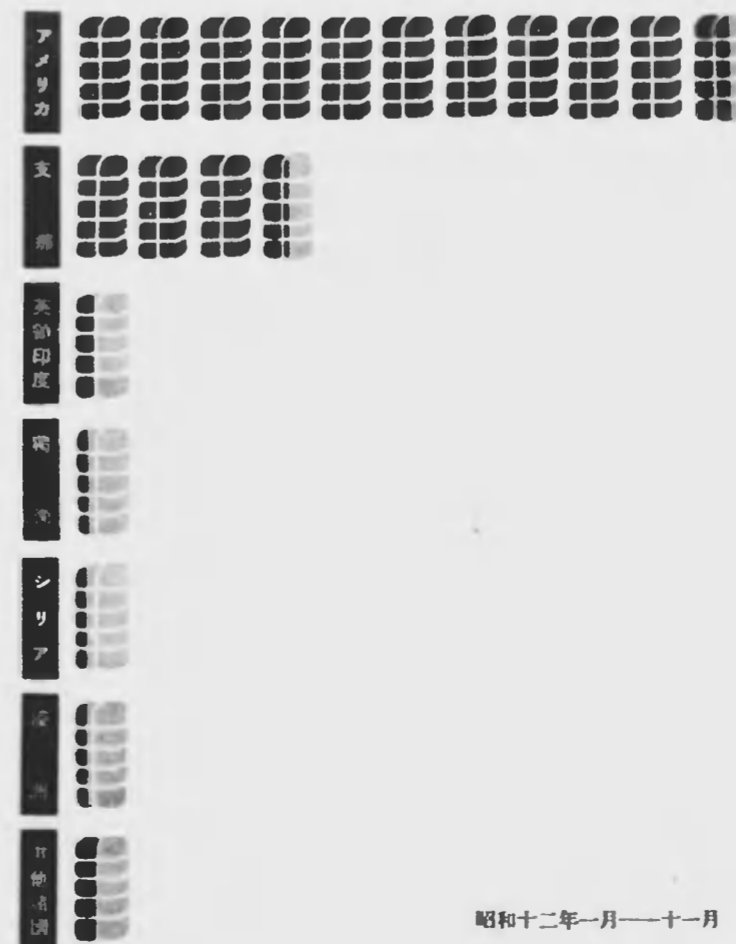
## 世界各国ステープル・ファイバー生産高

単位千封度

年次	日本	イタリー	ドイツ	アメリカ	イギリス	フランス	オランダ
昭和七年	550	9,400	5,500	2,200	1,100	1,650	365
昭和八年	965	11,500	9,250	2,750	2,100	2,000	440
昭和九年	4,720	21,600	15,800	3,300	2,200	4,400	665
昭和十年	13,625	67,550	34,300	10,000	5,200	8,000	710
昭和十一年	45,850	109,900	90,000	26,200	12,400	12,000	1,200

## 日本ステープル・ファイバー輸出高

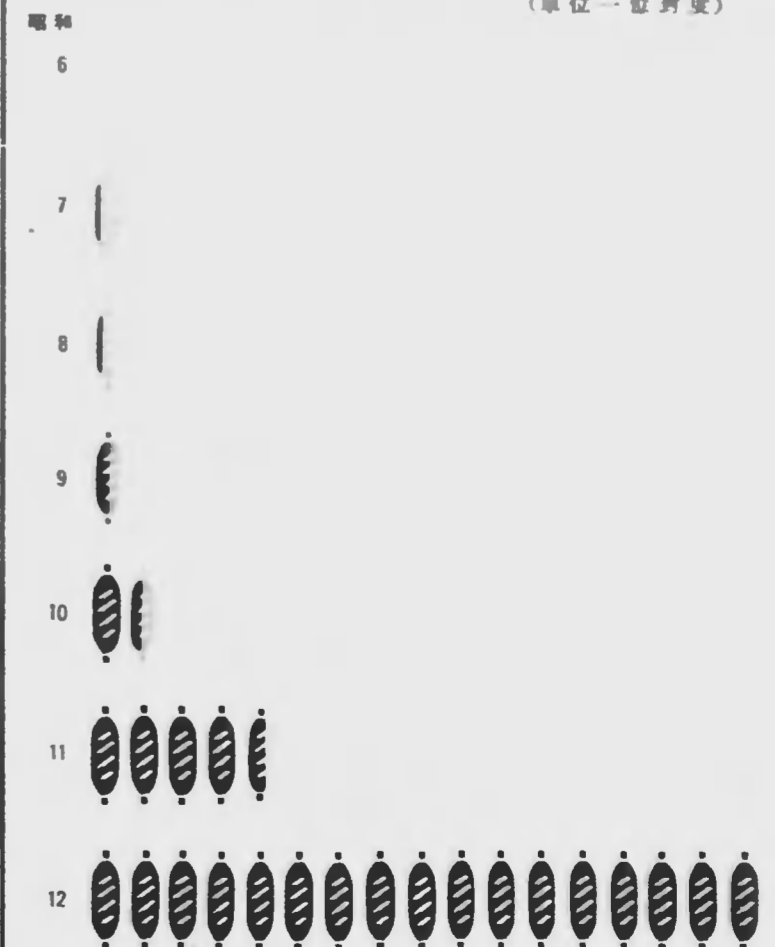
単位百萬封度



昭和十二年一月—十一月

## 日本ステープル・ファイバー生産高

単位一億封度





北京の美は萬壽山に盡きる



部報情閣内・導指  
社信通盟同・作製

# 曦光

HSI KUANG



北京市天壇

戦禍と天災の國支那  
その支那四億民衆の頭上  
に今や新らしき世紀の曙光  
(あかつき)は輝きはじめ  
た。見よ！わが聖戦の硝  
煙消え行く下にはじめて捉  
へられた生々たる大地を、  
聞け！アジアを揺がす民  
衆の歡聲を、



戦塵を拂つて春が訪れた



道路標に覆はふ

# 同盟旬報

第百九十八号 二月二十二日 第四卷 第二册

(昭和二十一年二月二十日)

**主要記事**

第七十三回帝國議會論議  
 恩給・庶民兩金庫法案發表  
 中國聯合準備銀行設立  
 廣東・四川に戦亂勃發  
 英米佛對日建議通告要請  
 政府の大變革  
 地中海英海軍學沈事件  
 國際聯盟對日決議案可決

同人法信通社發行

### ☆國策のパンフレット・國民常識の泉

政府の行はうとする政策の内容や意圖を廣く一般國民に傳へて其の正しい理解を求め、公正な輿論の聲を聞き、又法令の趣旨や内容の普及を図り、その他政府の各種機關に依つて得られる内外の情勢經濟學術技術等に關する資料を公表して、政府と一般國民との接觸を緊密にし、公明な政治の遂行に寄與しようとするものである。

**☆毎水曜日發行**  
 (見本御希望の方は内開) 一定部五錢  
 (印刷局宛御申出下さい)

**最近主要目次**

厚生省の新設 (第六十五號)  
 事變と戸籍 (第六十六號)  
 人民戰線運動の本體 (第六十七號)  
 帝國議會に於ける國務大臣演說 (第六十八號)  
 軍部の推移と總動員 (第六十九號)  
 運動の青少年運動 (第七十號)  
 上海の租界 (第七十一號)  
 國家總動員法案に就て (第七十二號)  
 海軍軍備問題と帝國朝鮮の國境警備 (第七十三號)  
 支那事變と滿洲國 (第七十四號)

**所込申**

内開印刷局發行所  
 東京一ツ橋區三軒茶屋二丁目一〇〇番地  
 全國各地官報販賣所  
 最寄書店・肆賣店

## 週報

第十七号

**編輯部情報内**

國家總動員法案に就いて(金)  
 建艦通報問題と帝國海軍軍備  
 敵大軍を黄河に壓す(海軍)  
 長沙に初撃を加ふ(海軍)  
 朝鮮の國境警備(朝鮮)  
 獨逸の國防軍改革とその影響(外務)

【主要内容】

支那事變特輯  
 議會、政治一般、政府、政黨其他政治的、文化的諸要素の活動、政黨並各方面の批判、政治、行政關係、調査資料  
 經濟一般、殊に經濟政策とその反響  
 世界各國事情、國際關係、海外論調  
 三月三十一日發行  
 四六冊別八〇頁  
 定價一部三五錢  
 ▲一ヶ年前納十員(送料共)  
 ▲販賣所 全國各書店 本社 各支店

### ★國內及海外の全「同盟ニュース」の綜合編輯誌

★事實の正確なる記録!  
 ★研究・批判・立策の基礎的資料!!

この十日間の出来事は? 世界の動きは? 皆さんは新聞を御覽になつて「一切抜」を作りたいと御考へにならませんか。その大變局面な仕事を忠實に務めるのが「同盟旬報」です。

各自の用途に従つて自在に活用出来るように整理されて居ります。日刊新聞で居切れた記事の結末や掲載されない良い記事も本誌に収録されて居ります。殊に今日誰でも知りたい海外論調や國際關係記事(在留の環境場です。時代の精確な記録、活きた資料として官廳、學校、談話會社、勿論、眞摯なる讀者の各書齋へ是非御備へ下さる様切望いたします。

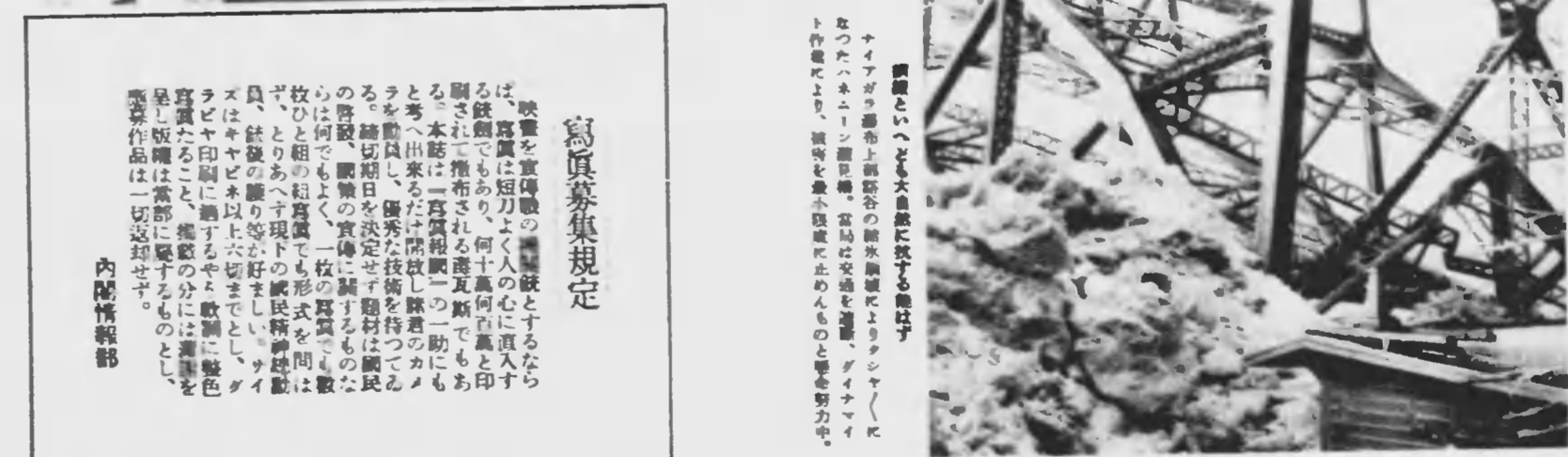
★實物見本進呈

購読御希望の方は切手六錢封入御申越(次誌先加贈に實物見本を進呈します)

申請所

東京市京橋區銀座西八ノ九  
 法人同盟通信社  
 (振替東京八五〇〇番)

## 海彼の方



所込申	全國各地官報販賣所	東都書籍株式會社	最寄書店・肆賣店	寫真材料店
	東京市京橋區銀座西八ノ九	法人同盟通信社	(振替東京八五〇〇番)	

昭和十三年三月二日印刷發行	內閣情報部	東京市京橋區銀座西八ノ九	東京市京橋區銀座西八ノ九	東京市京橋區銀座西八ノ九
印刷局	大日本印刷株式會社	東京市京橋區銀座西八ノ九	東京市京橋區銀座西八ノ九	東京市京橋區銀座西八ノ九

定價	一部 十錢	一ヶ年 (前金) 四圓八十錢	(送料別)
所込申	全國各地官報販賣所	東都書籍株式會社	最寄書店・肆賣店

寫真週報(採擷)

表紙(海軍)  
 皇座御下啓  
 見上武練の日本  
 建艦六週紀念  
 魁つた赤化村  
 ルアーステロ  
 武水へに  
 海軍省  
 光 内閣情報部  
 海 同盟通信社

海運報

昭和十三年二月十二日 第三號  
昭和十三年二月十二日 發行  
（普通二紙大縮日發行） 第三號



日本精神

我等の信念

海運報國

我等の使命

日本郵船株式會社

（本書の大きさは縮尺A4判）

MADE IN JAPAN  
The Nippon Yusen Kaisha, Ltd.